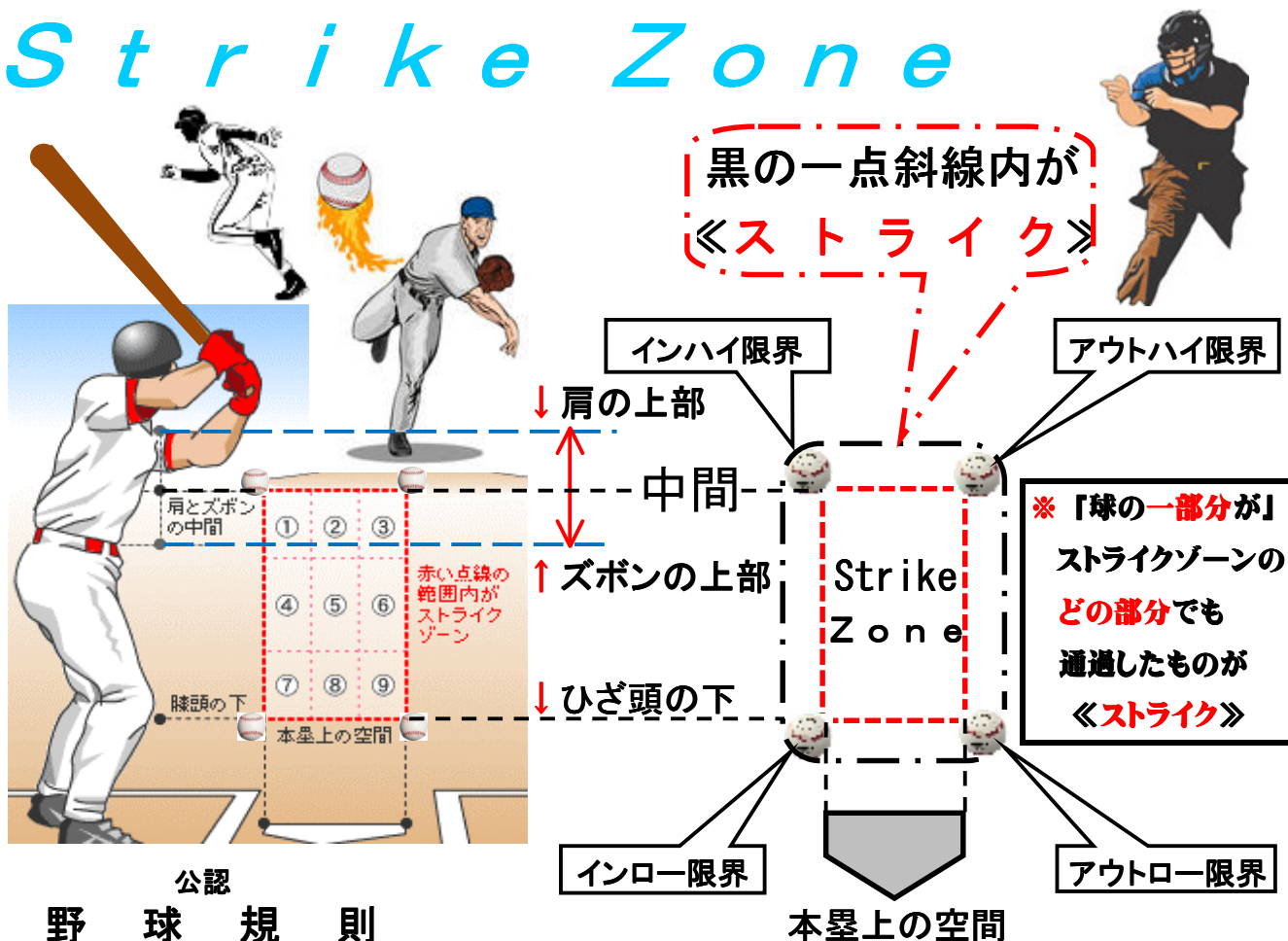


Strike Zone



公認 野球規則

2010 Official Baseball Rules

二・七三 Strike「ストライク」—次のような、投手の正規な投球で、審判員によって“ストライク”と宣告されたものをいう。

- (a) 打者が打った(バントの場合も含む)が、投球がバットに当たらなかったもの。
※「Strike」はストライクゾーンとは限らない。
- (b) 打者が打たなかった投球のうち、ボールの「一部分」がストライクゾーンのどの部分でもインフライトの状態通過したもの。
- (c) ノーストライクまたは 1 ストライクの時、打者がファウルしたもの。
- (d) バントして、ファウルボールとなったもの。
【注】普通のファウルは、2 ストライク後はストライクとして数えられないが、バントのファウルに限って、ボールカウントには関係なく常にストライクとして数えられるから、2 ストライク後にバントしたものがファウルボールとなれば、打者は三振となる。ただし、バントがフライとして捕らえられた場合は、フライアウトとなる。
- (e) 打者が打った(バントした場合も含む)が、投球がバットには触れないで打者の身体または着衣に触れたもの。
- (f) バウンドしない投球がストライクゾーンで打者に触れたもの。
- (g) ファウルチップになったもの。

二・七四 Strike Zone「ストライクゾーン」—打者の肩の上部とユニフォームのズボンの上部との中間点に引いた水平のラインを上限とし、ひざ頭の下部のラインを下限とする本塁上の空間をいう。このストライクゾーンは打者が投球を打つための姿勢で決定されるべきである。

【注】投球を待つ打者が、いつもと異なった打撃姿勢をとってストライクゾーンを小さく見せるためにかがんだりしても、球審は、これを無視してその打者が投球を打つための姿勢に従って、ストライクゾーンを決定する。